

日税メールステーション 特別号

海外基本情報

第38回 香港編 (2)

メールマガジンをお読みの皆様こんにちは、株式会社コアブリッジの柳です。
今号は香港の基本情報です。

■香港概要

香港(Hong Kong)は、香港島、九龍、新界の三地域からなる、中華人民共和国にある都市で、正しくは中華人民共和国香港特別行政区 (Hong Kong Special Administrative Region : SAR) です。先号で述べたように、中国では香港がイギリスから返還されてから「一国二制度」を実施し、香港に「高度な自治」と「社会主義ではなく資本主義制度」を認めています。

「国家」元首は中国の国家主席(習近平)ですが、行政は香港特別行政区政府の長官が代表を努めます。任期は5年で再選は1度のみ可能であることが、香港の憲法に相当する「中華人民共和国香港特別行政区基本法」(Basic Law)で定められています。

東京都の約半分の面積(約1,080平方km)の中に、人口は745万人(2018年時点)を抱えており、人口密度は東京都より1割ほど大きい値です。

香港は19世紀半ばから埋め立てにより土地が造成されており、分かりやすいところと言えば、国際空港や香港ディズニーランドなどは埋立地に建設されています。

現在も埋め立ては続けられており、香港の陸地面積は年々少しずつ増えています(2015年→2018年の3年間では0.9%増加しています)。

※数字は、香港特別行政区政府<<https://www.gov.hk/en/about/abouthk/facts.htm>>および同統計處<<https://www.censtatd.gov.hk/home.html>>の「香港統計年刊 Hong Kong Annual Digest of Statistics」から引用



香港島と九龍半島を結ぶビクトリア・ハーバー。世界三大夜景の一つとして有名ですが、19世紀から埋め立てが続けられています。

平均寿命（男女あわせた平均）は世界一で、世界銀行の統計データ<<http://api.worldbank.org/v2/ja/indicator/SP.DYN.LE00.IN?downloadformat=excel>>によれば、一位：香港(84.2歳)、二位：日本(84.0歳)、三位：マカオ(83.8歳)、四位：スイス(82.9歳)、五位：スペイン(82.8歳)となっています（2016年時点）。

言語は広東語（標準中国語と比べると非常に威勢が良い！）で、もちろんビジネスでは英語も使われますが、街中では英語が通じないことも多くあります。

通貨は香港ドル（HKD）で、現時点でのレートはだいたい1HKD=15円くらいです。紙幣は、中国銀行、香港上海銀行（HSBC）、スタンダード・チャータード銀行の3行が発行しているため、デザインも3種類あります。

日本との時差は1時間（日本が進んでいる）、気候は亜熱帯に属しますが、ゆるやかな四季があり、気温は年を通して日本と同じように変動します（東京の最高気温より3～5度くらい高い）。香港というと高温多湿のイメージが強く、実際その通りですが、夏場は日本のほうが高温になりますし、冬場は香港でも防寒が必要です（暖房設備は基本的にありません）。

■入出国

香港は中国の一部ではありますが、中国以外の国はもちろんのこと、中国本土や、同じ特別行政区であるマカオに対しても、出入国の手続きが必要です。

入国は、パスポートと記入済みの入国カード兼出国カードを提出するだけです。入出国カードはカーボン紙になっていて、記入するとそのまま二枚目の出国カードにも内容が写され合理的です。香港ではパスポートへのスタンプは廃止されていて、代わりに滞在期限が印刷された小さな紙を受け取ります。

出国も、パスポートと出国カードを係員に渡すだけですが、2017年10月から“Smart Departure”という顔認証出国システムによる自動出国ゲートが導入されています。パスポートを読み取り機にかざし、顔写真を撮られて処理終了という、いたって簡単かつ短時間で済むものです。自動出国ゲートではパスポートのみ読み取るため、出国カードは実質不要です。なお、入出国の要領は、飛行機のみでなく、フェリーの場合でも同様です。

■入国後の3タスク

両替は空港内に両替所があります。携帯電話のSIMカードも一緒に販売しているので、まとめて済ませることが可能です。

香港国際空港から市街地への移動には、エアポートエクスプレス（機場快線）、空港バス、タクシーが使えます。エアポートエクスプレスで25分（110HKD）、タクシーで40分（300HKD）くらいで中心部のセントラル（中環）に着きます。香港で交通機関や買い物をするには、日本の

SUICA や PASMO にあたるオクトパスカード（八達通）が便利です。空港到着ホールを突っ切って、エアポートエクスプレス乗り場近くにある旅客服務(Tourist Services)で入手できます。



左：エアポートエクスプレス。約 25 分の所要期間で、香港国際空港から中環を結びます。
右：オクトパスカード。カードリーダーで残額を確認しているところです。

今号は以上で終了です。

ではまた次回お会いしましょう。

※本文中の数値や URL 等は執筆当時のものです

執筆者

柳 恵太（やなぎ けいた）

株式会社コアブリッジ代表取締役。

ソフトウェア開発会社、メーカー、教育ベンダーを経て、2014 年に株式会社コアブリッジを設立。これまでの、システム開発の上流から下流、受託側から発注側、エンジニアからプロジェクトマネージャー、ユーザーと開発者、企画・営業・開発・提供、日本と海外、社員から経営者といった、組織における幅広い役割を活かし、主に IT 企業向けの人材育成やコンサルティング等のサービスを提供している。

情報提供元：



株式会社コアブリッジ

<https://www.corebridge.co.jp/>

※本コラムは、<https://www.corebridge.co.jp/column.html> でもご覧になれます。